

Akita J Med 39 (Suppl) : 169~170, 2012

社会環境医学系

法 医 科 学 講 座

(旧法医学)

教 授 美 作 宗 太 郎
 非常勤講師 鈴木 元 太 郎
 助 教 大 島 徹・大 谷 真 紀
 技術専門員(兼) 目 黒 ひ と み

著 書

- 1) 美作宗太郎 (2011) 法医科学講座. 秋田大学医学部創立40周年記念事業部会(編)秋田大学医学部40年史. 秋田大学医学部創立40周年記念事業部会・記念誌出版専門部会, 秋田, pp. 133-136.
- 2) 美作宗太郎 (2011) 「死因不明社会」からの脱却を目指して. 本橋 豊, 荻原順一(編)秋田から世界へ発信する最先端医学研究. 秋田魁新報社, 秋田, pp. 77-94.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Hostetler, E.D., Eng, W., Joshi, A.D., *et al.* (2011) Synthesis, characterization, and monkey PET studies of [¹⁸F] MK-1312, a PET tracer for quantification of mGluR1 receptor occupancy by MK-5435. *Synapse*, **65**, 125-135.
- 2) 大島 徹, 大谷真紀, 佐々木恭子, 美作宗太郎 (2011) 自動除塵設備内で発見された4剖検例. 法医学の実際と研究 **54**, 43-51.
- 3) 佐々木恭子, 大谷真紀, 大島 徹, 宮田 元, 美作宗太郎 (2011) 超音波診断装置を用いた脳病変の検索. 法医学の実際と研究 **54**, 53-58.

B. 審査を経ない論文

- 1) 大谷隆浩, 菅原真人, 高橋 聡, 橋本 学, 大島 徹, 大谷真紀, 美作宗太郎 (2011) 当

施設における死後CTの運用と現状. 映像情報, *Medical*, **43**, 331-333.

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第95次日本法医学会学術全国集会, 6月, 福島
 - 1) 大島 徹, 大谷真紀, 菅原真人, 古賀 誠, 大谷隆浩, 石山公一, 高橋 聡, 橋本 学, 美作宗太郎 (2011) 死後画像診断による心臓血の性状の推定
 - 2) 大谷真紀, 大島 徹, 美作宗太郎 (2011) 法医解剖死体の歯周疾患調査—歯槽骨吸収度を指標として—
2. 日本法歯科医学会第5回学術大会, 10月, 東京
 - 1) 大谷真紀, 大島 徹, 美作宗太郎 (2011) 脱落した補綴物が個人識別に有用であった一例
3. 第70回日本公衆衛生学会総会・自由集会, 10月, 秋田
 - 1) 吉岡尚文 (2011) 住まいと健康フォーラム: 入浴中事故に対する保健所の取組 (講演)

(b) 地方会

1. 第12回日本法医学会学術北日本地方集会(法医学談話会第98回例会), 10月, 弘前
 - 1) 大島 徹, 大谷真紀, 吉川 洋, 美作宗太郎 (2011) 死後撮影CTにて両眼の上脈絡膜出血を認めた一例
 - 2) 大谷真紀, 大島 徹, 美作宗太郎 (2011) 炭化・崩壊した歯の所見から個人識別が可能で

(170)

社会環境医学系 法医科学講座

あった2例

- 3) 新津ひさえ, 出羽厚二, 藤田友嗣, 千葉 孝, 大谷真紀, 美作宗太郎 (2011) 筋弛緩薬ベクロニウムが検出された事例
2. 第18回東北神経病理研究会, 10月, 秋田
 - 1) 大谷真紀, 宮田 元, 大島 徹, 美作宗太郎 (2011) 水無脳症の一部検例
- (c) 研究会
 - (ii) 地方規模
 1. 秋田県警察医・警察歯科医連絡会議, 2月, 秋田
 - 1) 美作宗太郎 (2011) 法医解剖室にCTを導入して
 - 2) 大谷真紀 (2011) 法医解剖死体の歯科所見
 2. 第5回法医歯科勉強会, 8月, 秋田
 - 1) 大谷真紀 (2011) 歯科所見による個人識別に関する研修会のあり方について
 3. 平成23年度愛媛県警察歯科医会研修会, 8月, 松山
 - 1) 大谷真紀 (2011) 東日本大震災における死体検案支援 (講演)
 4. 医学生のための九州法医学合同ワークショップ, 10月, 長崎
 - 1) 美作宗太郎 (2011) 子どもを虐待から救うために法医学者には何ができるのか?
 5. 第42回検屍と法医の会, 11月, 秋田
 - 1) 美作宗太郎 (2011) 法医解剖における溺水の診断

Akita J Med 39 (Suppl) : 171~172, 2012

社会環境医学系

環境保健学講座

(旧衛生学)

教授	村田勝敬
准教授	堀口兵剛 (4月~)
非常勤講師	吉田稔・照井哲 茂木隆・塚田三香子
	三浦進一
助教	岩田豊人
助教(兼)	阿久津雅典
大学院生	福岡敦子
医療系補佐員	小熊悦子 (4月~11月)
技術系補佐員	小熊悦子 (12月~)

著書

- 1) Murata, K. and Sakamoto, M. (2011) Minamata disease. In Nriagu, J.O. (ed.) *Encyclopedia of Environmental Health*, volume 3. Elsevier, Burlington, pp. 774-780.
- 2) Grandjean, P., Choi, A.L., Weihe, P. and Murata, K. (2011) Methylmercury neurotoxicology : from rare poisonings to silent pandemic. In Wang, C. and Slikker, W. Jr. (eds.) *Developmental Neurotoxicology Research : Principles, Models, Techniques, Strategies, and Mechanisms*. John Wiley & Sons, Inc, Hoboken (New Jersey, US), pp. 335-356.

- 2) 川端輝江, 仲井邦彦, 萩原千絵, 黒川修行, 村田勝敬, 柳沼 梢, 佐藤 洋 (2011) 生物学的モニタリングのための血漿および赤血球膜リン脂質中長鎖多価不飽和脂肪酸の比較. 日衛誌 **66**, 108-114.
- 3) 村田勝敬, 吉田 稔, 坂本峰至, 岩井美幸, 柳沼 梢, 龍田 希, 岩田豊人, 苅田香苗, 仲井邦彦 (2011) メチル水銀毒性に関する疫学的研究の動向. 日衛誌 **66**, 682-695.
- 4) 村田勝敬, 苅田香苗, 堀口兵剛, 岩田豊人, 広瀬明彦 (2011) ベンチマークドース法の臨床的基準をもつ健康影響指標への適用. 産衛誌 **53**, 67-77.

学会発表

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Horiguchi, H., Oguma, E. and Kayama, F. (2011) Cadmium induces anemia through interdependent progress of hemolysis, body iron accumulation and insufficient erythropoietin production in rats. *Toxicol. Sci.*, **122**, 198-210.

A. 国際会議

1. 10th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, July, Nova Scotia (Canada)
- 1) Tatsuta, N., Nakai, K., Murata, K., Shimada, M., Yaginuma-Sakurai, K., Suzuki, K., Kurokawa, N., Hosokawa, T. and Satoh, H. (2011) The association of prenatal exposure to methylmercury

with infant development in Tohoku Study of Child Development

- 2) Sakamoto, M., Murata, K. and Akagi, H. (2011) Retrospective study on temporal and regional variations of methylmercury concentrations in preserved umbilical cords collected from inhabitants of the Minamata area, Japan
- 3) Yaginuma-Sakurai, K, Shimada, M., Nakai, K., Kurokawa, N., Tatsuta, N., Murata, K. and Satoh, H. (2011) Variation of hair to blood ratio of mercury from intervention study of methylmercury exposure

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 81 回日本衛生学会学術総会, 3 月, 東京
 - 1) 堀口兵剛, 小熊悦子, 細井陽子, 香山不二雄, 大久保公美, 村上健太郎, 佐々木敏, 宮本佳代子 (2011) 自家産米摂取によりカドミウム曝露を受けた日本の農家女性における骨への影響
 - 2) 黒川修行, 龍田 希, 鈴木恵太, 柳沼 梢, 島田美幸, 村田勝敬, 仲井邦彦, 佐藤 洋 (2011) 親の収入と児の体格や知能指数との関連性について
 - 3) 龍田 希, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 柳沼 梢, 島田美幸, 黒川修行, 村田勝敬, 佐藤 洋 (2011) 環境由来化学物質の胎児期ばく露と新生児の行動発達の関連性: NBAS による解

析から

- 4) 仲井邦彦, 黒川修行, 川端輝江, 佐々木裕子, 柳沼 梢, 島田美幸, 白石 彩, 中塚晴夫, 村田勝敬 (2011) 環境由来化学物質ばく露の体内蓄積量低減を目指した介入研究
- 5) 上山 純, 斉藤 勲, 斉藤 峻, 近藤高明, 柴田英治, 五藤雅博, 岩田豊人, 村田勝敬, 涌澤伸哉, 上島通浩 (2011) 日本人における有機リン系殺虫剤尿中代謝物量の特徴
- 6) 坂本峰至, 村田勝敬, 仲井邦彦, 佐藤 洋 (2011) 胎児期・乳児期別における母親由来金属の児体内蓄積に関する研究

(b) 地方会

1. 第 60 回東北公衆衛生学会, 7 月, 福島
 - 1) 堀口兵剛, 小熊悦子, 細井陽子, 香山不二雄, 大久保公美, 村上健太郎, 佐々木敏, 宮本佳代子, 村田勝敬 (2011) 秋田県の農家における自家産米摂取によるカドミウム経口曝露の実態とそれに対する保健対策

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. メタロチオネインおよびメタルバイオサイエンス研究会, 12 月, 名古屋
 - 1) 堀口兵剛 (2011) シンポジウム 生活環境からの重金属曝露による健康影響: 日本の農家における自家産米摂取によるカドミウム曝露とその腎機能への影響及び年齢とメタロチオネインの関与

Akita J Med 39 (Suppl) : 173~175, 2012

社会環境医学系

公衆衛生学講座

(旧公衆衛生学)

教授	本橋 豊
准教授	金子 善博
非常勤講師	伊藤 善信 (秋田地域振興局福祉環境部部长)
	濃沼 信夫 (東北大学大学院医学系研究科社会医学講座医療管理学分野教授)
	新開 省二 (東京都健康長寿医療センター東京都老人総合研究所 社会参加と地域保健研究チーム研究部長)
	鈴木 一夫 (秋田県脳血管研究センター疫学研究部長)
	中路 重之 (弘前大学大学院医学系研究科社会医学講座教授)
	荏原 正道 (荏原法律事務所)
助教	藤田 幸司
技術専門員(兼)	中村 洋子
大学院生	松村 亜里・佐々木 久長
	谷口 優・尾崎 健一
	宇佐美 覚・黄 誠金
	小林 芳生 (4月~)
	南園 智人 (4月~)
	渡邊 香 (4月~)

著書

- 1) 本橋 豊, 荏原順一 (編著) (2011) 秋田から世界へ発信する最先端医学研究. 秋田魁新報社, 秋田.
- 2) 野崎大輔, 尾崎健一 (2011) 黒い社労士と白い心理士が教える 問題社員 50 の対処術. 小学館集英社プロダクション, 東京.

総説・解説

- 1) Motohashi, Y. (2011) Suicide in Japan. *The Lancet*, **379**, Issue 9823, 1282-1283.
- 2) 本橋 豊 (2011) 日本の自殺. 『ランセット』

日本特集号「国民皆保険達成から50年」, 19-20.

- 3) 本橋 豊 (2011) 【ソーシャルワークと自殺対策】自殺対策における福祉の視点. 地域ケアリング **13**(6), 6-13.
- 4) 本橋 豊, 金子善博, 藤田幸司 (2011) 【高齢者の社会的孤立と精神保健】高齢者の社会的孤立と自殺. 自殺予防対策. 老年精神医学雑誌 **22**(6), 672-677.
- 5) 本橋 豊 (2011) 【被災者の心を支える】震災後の自殺を防ぐ「気づき」「つながる」体制の整備を. 地域保健 **42**(9), 26-31.
- 6) 本橋 豊 (2011) 公共性の地平から見た公衆衛生の将来展望. 日本公衆衛生雑誌 **58**(10),

(174)

社会環境医学系 公衆衛生学講座

44-47.

- 7) 佐々木久長 (2011) 【ソーシャルワークと自殺対策】地域に密着した福祉的な自殺対策の現状. 地域ケアリング **13**(6), 22-29.
- 8) 原田規章, 本橋 豊ら (2011) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 公衆衛生モニタリング・レポート 子どもの健康と社会格差 低出生体重の健康影響. 日本公衆衛生雑誌 **58**(3), 212-215.
- 9) 原田規章, 本橋 豊ら (2011) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 公衆衛生モニタリング・レポート 環境発がん対策のあり方について. 日本公衆衛生雑誌 **58**(6), 474-478.
- 10) 原田規章, 本橋 豊ら (2011) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 公衆衛生モニタリング・レポート 高齢者における健康の社会格差. 日本公衆衛生雑誌 **58**(7), 564-568.
- 11) 原田規章, 本橋 豊ら (2011) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 公衆衛生モニタリング・レポート 激甚災害後の健康危機管理 情報マネジメントによる被害軽減. 日本公衆衛生雑誌 **58**(8), 646-650.
- 12) 原田規章, 本橋 豊ら (2011) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 公衆衛生モニタリング・レポート 福島第一原発放射線漏れ事故に対応した環境発がん対策について. 日本公衆衛生雑誌 **58**(8), 651-657.
- 13) 原田規章, 本橋 豊ら (2011) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 公衆衛生モニタリング・レポート 「非正規雇用の健康影響」. 日本公衆衛生雑誌 **58**(10), 913-918.
- 14) 原田規章, 本橋 豊ら (2011) 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会. 公衆衛生モニタリング・レポート 健康影響予測評価 (Health Impact Assessment) の必要性と日本公衆衛生学会版ガイダンスの提案. 日本公衆衛生雑誌 **58**(11), 989-992.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) 南園智人, 兎澤真澄, 今川文子ら (2011) 職場における喫煙対策: 大館保健所管内と全国との比較. 秋田県公衆衛生学雑誌 **9**, 23-30.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. The 119th Annual Convention of the American Psychological Association, August, Washington DC, USA

- 1) Matsumura, A. (2011) Factors related to psychological stress in Japanese College students studying in English environments

2. The 9th Asia / Oceania Congress of Geriatrics and Gerontology, October, Melbourne, Australia

- 1) Taniguchi, Y., Yoshida, H., Fujiwara, Y., *et al.* (2011) A Prospective Study of Comprehensive Health-Related Measures and Subsequent Cognitive Decline in a General Population of Older Japanese

3. The 64th Annual Scientific Meeting of the Gerontological Society of America, November, Boston, USA.

- 1) Taniguchi, Y., Yoshida, H., Fujiwara, Y., *et al.* (2011) A Prospective Study of Gait Performance and Subsequent Cognitive Decline in a General Population of Older Japanese

- 2) Shinkai, S., Fujiwara, Y., Taniguchi, Y., *et al.* (2011) Physical performance and cardiovascular death in a general population of older Japanese

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第21回日本疫学会総会, 1月, 札幌市

- 1) 藤田幸司, 金子善博, 金子善博 (2011) 地域高齢者の外出頻度とメンタルヘルスとの関連: コホート研究

- 2) 谷口 優, 吉田裕人, 藤原佳典, 本橋 豊, 新開省二 (2011) 地域在宅高齢者における認知機能低下のリスクマーカーの検討

- 3) 新開省二, 藤原佳典, 吉田裕人, 天野秀紀, 谷口 優, 吉田英世, 鈴木隆雄 (2011) 地域

- 高齢者における体力と3大死因群別死亡に関する8年間の追跡研究
2. 第70回日本公衆衛生学会総会, 10月, 秋田市
 - 1) 本橋 豊(2011) 公共性の地平からみた公衆衛生の将来展望(学会長講演)
 - 2) 金子善博(2011) 地方自治体の自殺対策の効果評価の検討(パネリスト)
 - 3) 尾崎健一, 本橋 豊, 金子善博, 藤田幸司(2011) 職場における抑うつ感と社会貢献感との関連性
 - 4) 北嶋しげ子, 佐々木久長, 米山奈奈子(2011) 勤労中高年男性のメンタルヘルス状況別による相談行動に関連する要因
 - 5) 山路真佐子, 千田みゆき, 松岡由美子, 金子善博, 本橋 豊(2011) 心の健康づくりに関する健康教室についての住民と保健師の評価
 3. 第35回日本自殺予防学会総会, 12月, 宜野湾市
 - 1) 本橋 豊(2011) 自殺の背景にある格差の再考(パネリスト)
- (b) 地方会**
1. 第60回東北公衆衛生学会, 7月, 福島市
 - 1) 藤田幸司, 金子善博, 金子善博(2011) 在宅自立高齢者における生活機能低下予測因子としての主観的な外出頻度評価の検討: 1年9ヶ月間のコホート研究から

Akita J Med 39 (Suppl) : 177~178, 2012

社会環境医学系

医科学情報学・国際交流学講座

(旧医科学情報学)

教 授 中 村 彰
准 教 授 片 平 昌 幸・Wood Donald Coleman

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) 高島幹子, 中村 彰, 浅沼義博, 他5名 (2011) インシデントの「影響度分類」の一考察—転倒・転落事故の分析から—, 秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻紀要 **19**(2), 53-58.
- 2) Wood, D.C. (2011) English Textbook Preference among Japanese Medical Students Reconsidered: Textbook Content, Testing, and Student Performance as Factors. *Journal of Medical English Education*, **10**(1), 20-28.

B. 審査を経ない論文

- 1) Obadia, L. and Wood, D.C. (2011) Economics and Religion, Economics in Religion, Economics of Religion: Reopening the Grounds for Anthropology? *Research in Economic Anthropology*, **31**, pp. xiii-xxxvii.
- 2) Wood, D.C. (2011) Contributing author to "Japan's Shrinking Regions in the 21st Century: Contemporary Responses to Depopulation and Socioeconomic Decline." Peter Matanle & Anthony S. Rausch, eds. New York: Cambria Press (Ch. 9, pp. 341-360.)

学 会 発 表

A. 国際会議

1. 国立民俗学博物館国際シンポジウム (Light and Shadow in East Asia: Health, Wealth, and "Hungry Ghosts"), 9月, 大阪
- 1) Wood, D.C. (2011) 'Crisis in the Pacific': For-

eign Media and Governments, and Tremors in the 'Contact Zone' Following the Great East Japan Earthquake

そ の 他

1. ブックレビュー
 - 1) Simon Partner, The Mayor of Aihara: A Japanese Villager and His Community, 1865-1925. (Japanese Review of Cultural Anthropology)
2. セミナー開催: コンピュータ利用教育学会主催, 熊本大学, 8月
 - 1) 田中一郎, 大木誠一, 籠谷和弘, 中村 彰, (2011) セミナー開催: 『コンピュータ&エデュケーション』をより良くするために—なぜひじけられるのか—

学 会 賞 受 賞

1. 論文賞, コンピュータ利用教育学会
 - 1) 片平昌幸, 中村 彰 (2010) 新入生の ICT 素養と学習効果の統計学的評価. *Computer & Education*, **29**, pp. 86-91.

編 集 作 業

1. Obadia, L. and Wood, D.C. (2011) 学術誌編集
 - 1) *Research in Economic Anthropology*, **31** Emerald/JAI
2. 中村 彰 (2011) 学術誌編集
 - 1) コンピュータ&エデュケーション **30**, コンピュータ利用教育学会

(178) 社会環境医学系 医科学情報学・国際交流学講座

2) コンピュータ & エデュケーション 31, コンピュータ利用教育学会

社会貢献

1. 市民対象

- 1) 片平昌幸, 中村 彰 (2011) 秋田大学こども見学デー, 8月, 秋田大学医学部
- 2) Wood, D.C. パネリスト (2011) 秋田大学国際シンポジウム・持続可能な男女共同参画のあり方を探る, 2月, 秋田

学内貢献

- 1) 中村 彰 (2011) 秋田大学医学部 Home Page, 維持・管理・更新, <http://www.med.akita-u.ac.jp/>
- 2) 片平昌幸 (2011) 秋田大学医学部医学科 Web シラバスシステム, 更新・維持管理, <http://www.med.akita-u.ac.jp/syllabus/med/2011/>
- 3) 片平昌幸 (2011) 本道地区の2つのメールサーバの更新・維持管理
- 4) 片平昌幸 (2011) 医学部基幹ネットワーク・サーバシステム, 維持管理, DNS, Mail Server, etc.
- 5) 片平昌幸 (2011) 平成23年度総合情報処理センターシステム更新時における原案等作成と導入補助